

外反母趾の手術を受けられる患者さんへ

項目	入院日～手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1日目	術後2日目～14日目	術後15日目 退院
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術や術後の状態について理解し不安なことや疑問点は質問することができる 感染予防行動（手洗い・うがい、口腔ケア、シャワー等）がとれる 転倒の危険性を理解し転倒を予防することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 指示された薬のみ内服します 2. 1番目の方は点滴を行い、8時頃に手術室へ行きます 3. 2番目以降の方は、病棟で点滴を行い、連絡が来てから手術室へ行きます 	<ul style="list-style-type: none"> ・自覚的な症状を医療者に伝えることができる ・疼痛増強時に報告ができ、疼痛緩和の処置を受けることができる ・深部静脈血栓症の危険性を理解し、予防行動をとることができる ・腓骨神経（膝下の外側にある神経）の圧迫を予防し、神経麻痺を起こさない・褥瘡（床ずれ）予防行動（ヒップアップなど）を行い、褥瘡の発生を予防できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・免荷で車椅子に移乗できる ・転倒の危険性を理解し予防する行動がとれる ・リハビリテーションの必要性を理解し実施できる ・安静度が理解できる ・足関節の底背屈運動ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・創部の感染兆候を理解し、異常時に報告できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術した側の傷の悪化や発熱が持続するなど、異常を感じた場合は早めに連絡し受診する事ができる
治療・薬剤（点滴・内服） ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・現在内服しているお薬は医師の指示に従ってください ・手術後しばらくは内服薬は看護師が配ります ・21時頃に下剤を飲みます 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示された薬のみ内服します ・1番目の方は点滴を行い、8時頃に手術室へ行きます ・2番目以降の方は、病棟で点滴を行い、連絡が来てから手術室へ行きます 	<ul style="list-style-type: none"> ・抗生剤の点滴があります ・点滴と背中からの痛み止めの管があります ・心電図モニターと肺塞栓症予防のために足にフットポンプをつけます 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで飲んでた薬を再開します ・新たに鎮痛剤の内服が開始となります。内服薬は看護師が配ります ・傷の消毒を行います ・リハビリテーションが始まります。リハビリテーション室は2階にあり、時間は朝に看護師が伝えます 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後11日～14日の間に傷を確認し抜糸を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後も続く内服薬がある場合は継続して内服します 
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・採血などの検査がある場合があります ・検査がある場合は、連絡があるまでお待ちください 	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後に採血があります 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて採血やレントゲン撮影を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な外来受診や、リハビリテーションを継続します 	
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> ・特に制限はありません ・免荷で車椅子へ移る練習をします ・転倒予防のため必ず履き慣れた踵のある靴を履きましょう ・タバコを吸ってはいけません 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術当日はベッド上安静です ・1人で体の向きを変えることはできません。ナースコールでお知らせください 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術当日はベッド上安静です ・1人で体の向きを変えることはできません。ナースコールでお知らせください 	<ul style="list-style-type: none"> ・免荷で車椅子に移ります。初回の移乗は医師または看護師と一緒にいきます。医師の許可があるまで、必ず看護師と一緒に移動しますので、トイレや移動の際はナースコールでお知らせください 	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子への移乗動作が安定し医師の許可があれば1人での移乗する事が可能になります 	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒予防行動を継続し、転倒しないように注意してください。荷物の制限がある場合は、医師の指示を守り安全に移動しましょう
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食よりお部屋に配膳します ・絶対絶食の時間は麻酔科医師の診察後にお知らせします 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶食です。飲水は主治医の許可を得て開始します 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術当日は飲んだり食べたりすることはできません 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術前と同様の食事が始まります 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて採血やレントゲン撮影を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な外来受診や、リハビリテーションを継続します
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワーに入ってください。介助が必要な方は看護師が介助します ・必要な部位の剃毛を行います ・手足の爪切りを行います ・化粧やマニキュアはとってください 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワーや体拭きはできません 	<ul style="list-style-type: none"> ・体拭きを行います ・洗髪や足を洗うことは患者さんと話し合いながら計画を立てていきます 	<ul style="list-style-type: none"> ・体拭きを行います ・洗髪や足を洗うことは患者さんと話し合いながら計画を立てていきます 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワーの許可がたらシャワーに入れます 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワーに入る時は滑り止めや浴用椅子を使用しましょう
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・特に制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の管が入っています ・便秘がある時は看護師にお知らせください。ベッド上安静のため、オムツや便器を使用しでの排泄になります 	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の管を抜きます。その後、排尿と排便はトイレで行うことができます 	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の管を抜きます。その後、排尿と排便はトイレで行うことができます 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワーの許可がたらシャワーに入れます 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な外来受診や、リハビリテーションを継続します
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟クラーク（事務職員）が病棟の案内を行います ・クリニカルパスに沿って術前オリエンテーションを行います ・主治医から手術説明、麻酔科医から麻酔の説明があります。手術に必要な以下の同意書を記入し、看護師に提出してください 手術説明同意書 麻酔同意書 リハビリテーション同意書 	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧はしてはいけません ・指輪、義歯、コンタクトレンズ、時計、ピアス等の貴金属類や湿布ははずしてください ・手術衣に着替えて肺塞栓症予防のための弾性ストッキングを履きます ・トイレを済ませストレッチャーに乗り、3階の手術室へ移動します ・ご家族は、手術室入室前までには直接病室へお越しください ・手術中、ご家族は2階のデイルームでお待ちください ・ご家族も病室に入る際は入室前に手指消毒をお願いします 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術終了後は、可能な限り足首の底背屈運動をしてください。麻酔が切れてくると徐々に足が動くようになってきます。足が動かない場合はナースコールでお知らせください ・床ずれや合併症予防のために、ヒップアップをしましょう ・主治医より、患者・家族へ手術の経過について説明があります 	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子に移乗する場合は、ストッパーがかかっていることを確認する ・左右確認を行いゆっくり移動する ・身の回りの整理整頓を行う ・立ち上がる時などはテーブルを支えに立ち上がらない。ストッパーがかからないものがあり、危険です ・履き慣れた踵のある靴を使用する ・車椅子へスムーズに移乗が可能となったら、主治医の指示のもと弾性ストッキングを脱ぐことができます 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険等の診断書が必要な場合は、1階診断書窓口で手続きを行なってください。尚、書類作成には約2週間かかります 	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟クラーク（事務職員）が会計計算票、看護師が預かっている内服薬を病室までお持ちします。病室でお持ちください ・退院後初回再診日まで、ご不明、ご不安な事がありましたら退院指導書に記載されている連絡先にご連絡ください。
手術の準備物品	<ul style="list-style-type: none"> ・手術前日までに以下の物品を準備してください ・T字帯1枚（1階のロッソンに売っています）、曲がるストローまたは薬のみ、必要時スプーンやフォーク ・手術当日より、病衣借用が必要となります（1日80円）ので、専用の申込用紙に記入し入院総合案内受付に提出してください。使用しなくなった場合、使用中止の手続きが必要ですので看護師へ申し出てください ・手術後はリハビリテーションが始まりますので、履き慣れた靴や動きやすいようにスポンを準備してください 	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧はしてはいけません ・指輪、義歯、コンタクトレンズ、時計、ピアス等の貴金属類や湿布ははずしてください ・手術衣に着替えて肺塞栓症予防のための弾性ストッキングを履きます ・トイレを済ませストレッチャーに乗り、3階の手術室へ移動します ・ご家族は、手術室入室前までには直接病室へお越しください ・手術中、ご家族は2階のデイルームでお待ちください ・ご家族も病室に入る際は入室前に手指消毒をお願いします 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術終了後は、可能な限り足首の底背屈運動をしてください。麻酔が切れてくると徐々に足が動くようになってきます。足が動かない場合はナースコールでお知らせください ・床ずれや合併症予防のために、ヒップアップをしましょう ・主治医より、患者・家族へ手術の経過について説明があります 	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子に移乗する場合は、ストッパーがかかっていることを確認する ・左右確認を行いゆっくり移動する ・身の回りの整理整頓を行う ・立ち上がる時などはテーブルを支えに立ち上がらない。ストッパーがかからないものがあり、危険です ・履き慣れた踵のある靴を使用する ・車椅子へスムーズに移乗が可能となったら、主治医の指示のもと弾性ストッキングを脱ぐことができます 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険等の診断書が必要な場合は、1階診断書窓口で手続きを行なってください。尚、書類作成には約2週間かかります 	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟クラーク（事務職員）が会計計算票、看護師が預かっている内服薬を病室までお持ちします。病室でお持ちください ・退院後初回再診日まで、ご不明、ご不安な事がありましたら退院指導書に記載されている連絡先にご連絡ください。

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

